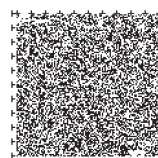


〈第五次福岡県環境総合基本計画〉

# 福岡県環境総合ビジョン

「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ」



## ごあいさつ

本県では、「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県」を目指し、世界を視野に、未来を見据えて成長し発展するための施策を展開しています。

現在、地球温暖化（気候変動）に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大が地球規模の課題となっています。

国連の「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」は、人間の活動が地球の気候を温暖化させてきたことに疑いの余地がないことを報告しており、本県においても地球温暖化が原因の一つと思われる大雨による災害が5年連続で発生しています。

また、地球温暖化による気候変動などによって動物と人との関係が変化することで新型コロナウイルス感染症のような人と動物の共通感染症は、今後も新たに発生する可能性が指摘されており、「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」という「ワンヘルス」の理念が一層重要となっています。

このような地球規模の課題に対する国際的な動きも見られます。2020（令和2）年に本格運用の段階に入ったパリ協定の下、わが国を含め、世界各国で温室効果ガス排出の実質ゼロを目指す動きが加速しました。脱炭素化への挑戦を成長の機会と捉えることは世界的にも主流であるとともに、コロナ禍からの経済回復に当たっては、環境を重視した投資を通じて持続可能な社会の実現を目指す「グリーンリカバリー」という考え方も注目されています。

これらの状況を踏まえ、本県の環境分野の施策大綱である第五次福岡県環境総合基本計画（福岡県環境総合ビジョン）を策定いたしました。

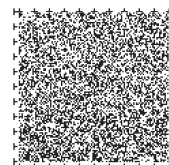
この計画では、第四次計画に引き続いてSDGsの考え方を取り入れるとともに、「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ」を本県の将来像に掲げ、グリーン社会の実現を推し進めるため、地球温暖化対策やワンヘルスの理念に沿った生物多様性保全の取り組みなど、7つの柱を設定し、柱ごとに目指す姿を示しています。

これらの柱は、相互に関連して進めることが重要です。例えば、脱炭素社会の実現を目指す取り組みとして再生可能エネルギーの導入を進めることは、天然資源である化石燃料の持続的な利用や、化石燃料の燃焼による大気汚染の防止にも効果が期待されるなど、複数の分野における課題解決となり、グリーン社会の実現にもつながります。

計画の推進に当たっては、県民、事業者、行政など各主体の連携のみならず、県域を越えた連携が必要となります。この計画を契機として、環境問題にとどまらず、経済・社会の課題解決にもつながることを目指し、福岡県にもっと「笑顔」が増えるよう、しっかり取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

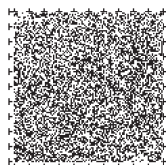
令和4年3月

福岡県知事 服部 誠太郎



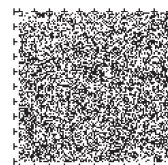
# 目次

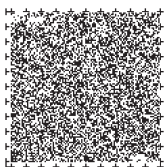
<b>第1章 計画の基本的事項</b> .....	<b>1</b>
1 計画策定の背景 .....	1
2 計画の位置付け .....	6
3 計画の役割 .....	6
4 計画期間 .....	6
5 計画の構成 .....	7
<b>第2章 福岡県の環境の将来像</b> .....	<b>9</b>
<b>第3章 施策の展開方向</b> .....	<b>12</b>
1 経済・社会のグリーン化(柱1) .....	12
－技術・システム・ライフスタイルのイノベーション－	
◆目指す姿 .....	12
◆現状・課題 .....	12
◆施策の方向 .....	16
◆重点的に推進するプロジェクト .....	22
◆指標項目 .....	32
2 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり(柱2) .....	33
－多様な主体による環境啓発活動や環境教育－	
◆目指す姿 .....	33
◆現状・課題 .....	33
◆施策の方向 .....	36
◆重点的に推進するプロジェクト .....	40
◆指標項目 .....	45
3 脱炭素社会への移行(柱3) .....	46
－地球温暖化防止と気候変動への適応－	
◆目指す姿 .....	46
◆現状・課題 .....	46
◆施策の方向 .....	50
◆重点的に推進するプロジェクト .....	56
◆指標項目 .....	60



4	循環型社会の推進(柱4)	61
	－資源の効率的活用と廃棄物の適正処理－	
	◆目指す姿	61
	◆現状・課題	61
	◆施策の方向	66
	◆重点的に推進するプロジェクト	72
	◆指標項目	80
5	自然共生社会の推進(柱5)	81
	－生物多様性の保全・利用と「ワンヘルス」の実現－	
	◆目指す姿	81
	◆現状・課題	81
	◆施策の方向	85
	◆重点的に推進するプロジェクト	90
	◆指標項目	96
6	健康で快適に暮らせる生活環境の形成(柱6)	97
	－心地よい空気・水・土・居住環境の保全－	
	◆目指す姿	97
	◆現状・課題	97
	◆施策の方向	101
	◆重点的に推進するプロジェクト	106
	◆指標項目	110
7	国際環境協力の推進(柱7)	111
	－県内の環境技術によるアジアの環境問題の改善－	
	◆目指す姿	111
	◆現状・課題	111
	◆施策の方向	112
	◆重点的に推進するプロジェクト	118
	◆指標項目	120
<b>第4章 推進体制・進行管理</b>		<b>121</b>
1	推進体制	121
2	進行管理	121
3	参考資料	124
	1 福岡県環境総合ビジョンとSDGs17のゴールとの関連	124
	2 計画の策定経過	127
	3 福岡県環境審議会委員等名簿	128
	4 第四次福岡県環境総合基本計画の進捗報告	130

このマークは目の不自由な方等が使う音声コードです。専用装置やスマートフォンのアプリ(Uni-Voice)を使い読み取ることで、ページに書かれている文章を音声で聞くことができます。







### 福岡県環境総合ビジョン

令和4年3月発行  
編集・発行 福岡県環境部環境政策課

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
電話(092)643-3355(直通) FAX(092)643-3357  
Eメール kansei@pref.fukuoka.lg.jp  
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/hiroba1.html>  
(環境総合ビジョン及び環境に関する各種情報をご覧いただけます)

#### 福岡県行政資料

分類記号 MA	所属コード 1900103
登録年度 03	登録番号 0006

このマークは目の不自由な方等が使う音声コードです。専用装置やスマートフォンのアプリ(Uni-Voice)を使い読み取ることで、ページに書かれている文章を音声で聞くことができます。

